

多回路エネルギー診断メータ (直流Modbusタイプ)

MPM-DC-5PORT-MODBUS

株式会社 フタバ企画

5回路まで同時に計測可能な非接触の直流電流メータです。RS485インターフェースおよびModbus通信方式を有し、最大で16台の多段接続に対応します。太陽光発電所のストリング監視・グループ監視、直流給電システムの稼働監視などへの用途に最適です。IoT/M2Mゲートウェイを併用することで、オンラインによる24時間リモート監視が実現できます。50Aレンジと250Aレンジがあります。



太陽光発電所の
ストリング単位
ヘルスチェック

直流給電システムの
分岐電流監視

Modbus/RS485 動作原理

RS485ケーブル

数珠つなぎで延長可能
MAX: 16台
総延長: 1200 m

Modbusメッセージ

集電箱

デバイス2

集電箱

デバイス1

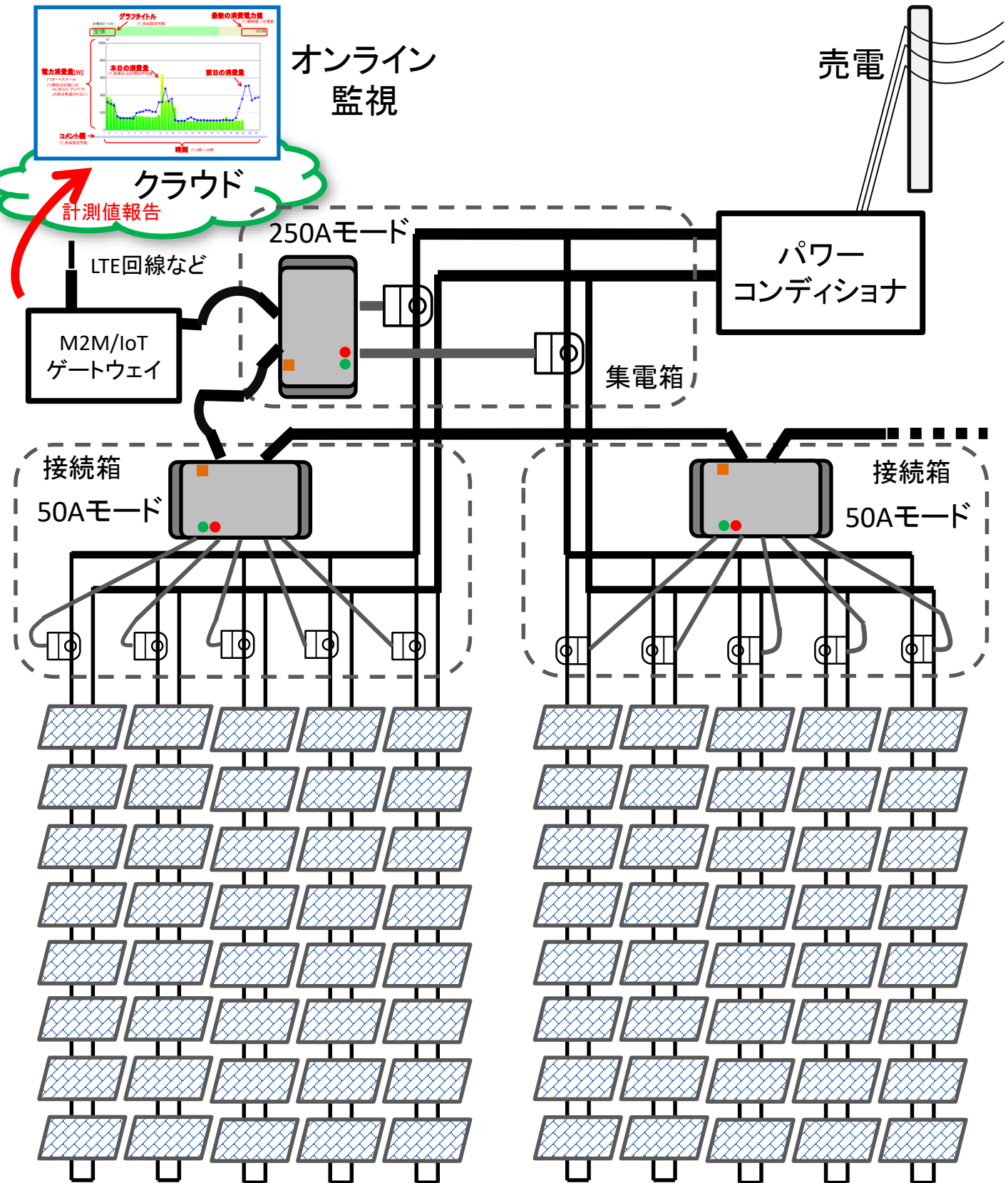


IoT/M2Mゲートウェイなど
RS485+Modbus マスター機能
+3G/LTE通信機能

RS485の上でModbusメッセージの交換を行って
各デバイスから計測値を取り出し、クラウドに送信する。

多回路エネルギー診断メータ (直流Modbusタイプ)

応用例: 太陽光発電所の「太陽電池ストリング監視」



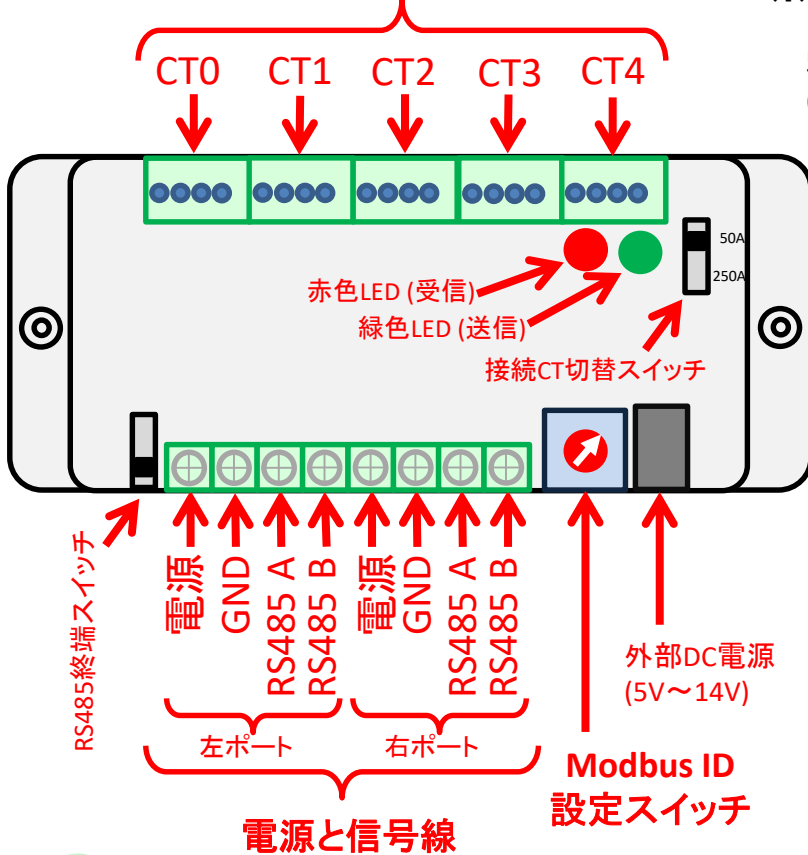
集電箱に電氣的に非接触の分割クランプを取り付けることで、太陽光発電所を構成するストリング毎のヘルスチェックを可能にします。日陰による影響や目に見えぬ異常を、リアルタイムに監視・通知するため、発電システムの正常稼働率を高く保つことが可能になります。

多回路エネルギー診断メータ (直流Modbusタイプ)

構成と仕様

各部の構成と配線方法

CT取り付けインターフェース



※ 直流CT

50Aタイプ
(φ10mm)

250Aタイプ
(φ24mm)



左側から
緑(-15V)
黒(COM)
赤(+15V)
白(信号)
の順序で接続

※電源とRS485ポートについて

電圧は5V~14Vを使用してください
左ポートと右ポートは内部接続されています
上位系、下位系との数珠つなぎに利用できます
また、外部DC電源を接続すると、その電圧が
端子台に出力されますので、ご注意ください。



接続例

電気的仕様

種別	内容
電流計測	実効値の計測、最大5ポート (0A~50A もしくは 0A~250A)
Modbus通信	9600bps, パリティ無し, ストップビット1
通信インターフェース	RS485
電源	5V~14V, 300mA
寸法	W71 x H21 x D127 (フランジ足含む。ただし、突起物を含まず)
その他	動作環境: -10°C~60°C 使用においては結露無きこと

(*) CTおよびケーブルは別売りです

お問い合わせ



株式会社

フタバ企画

〒101-0032

東京都千代田区岩本町3-10-12 岩本町駅前ビル302

info@futaba-kikaku.jp http://www.futaba-kikaku.jp/

TEL: 03-6240-9225 FAX: 03-6240-9226

直接ネットにつながる

IEEE1888多回路エネルギー診断メータ
もごさいます。

専用機、ポート数の拡大、3G/LTE通信対応機などの、
特注設計・製造もご相談ください。